

避難情報の種類を理解しましょう

災害の発生前または発生時に、町長が発令する避難勧告などの避難情報の違いをよく理解して、自分の身を守りましょう。避難をする際は、隣近所に声を掛けるなど地域で協力し合いながら避難行動をしましょう。

また、危険を感じる場合などは、自らの判断で早めに避難することも重要です。



低	危険度		高
【警戒レベル3】	【警戒レベル4】(全員避難)		
避難準備・高齢者避難開始	避難勧告	避難指示(緊急)	
いつでも避難ができるよう準備をするための合図です。 高齢者や障がい者、幼児など避難に時間がかかる方がいる家庭は、速やかに指定避難所などに避難してください。	河川の氾濫や土砂崩れの危険があります。 発令区域に住む方は、指定避難所などに避難してください。	ただちに避難を開始。 道路の冠水や土砂崩れなど指定避難所などへ避難することが危険な場合は、丈夫な建物など近くの安全な場所に避難をしてください。	

日常の備え確認を

■日常の備え

- ①非常食や懐中電灯など非常持出品や備蓄品の点検をする
- ②3日分程度の食料・飲料水を備える
- ③家の内外で危険な場所がないか確認しておく
- ④防災ガイドマップで災害時の避難経路、避難場所を家族で確認しておく

■災害時の対応

- ①正確な情報収集と早めの行動をとる
- ②避難の呼び掛けに注意する
- ③動きやすい服装、2人以上で避難する
- ④車での避難は控える

非常持出品・備蓄品の一例
非常食(3日分) ※インスタント食品など
飲料水(3日分)・非常用飲料水袋
貴重品(預金通帳・印鑑・保険証など)
救急箱・常備薬・お薬手帳
懐中電灯・ランタン
携帯ラジオ
カセットコンロ・ボンベ
簡易トイレ・生理用品
毛布・タオル・携常用カイロ
缶切り・ライター・ビニール袋

防災ガイドマップで避難所を確認し、避難に備えましょう



平成29年4月号広報で全戸配布しました「訓子府町防災ガイドマップ」には、防災に関する基本的な知識のほか、浸水想定区域や避難所の位置、非常持出品や備蓄品などが記載されていますので、日ごろの備えに活用しましょう。

訓子府町防災ガイドマップは、総務課防災係にありますので、必要な方はご連絡ください。

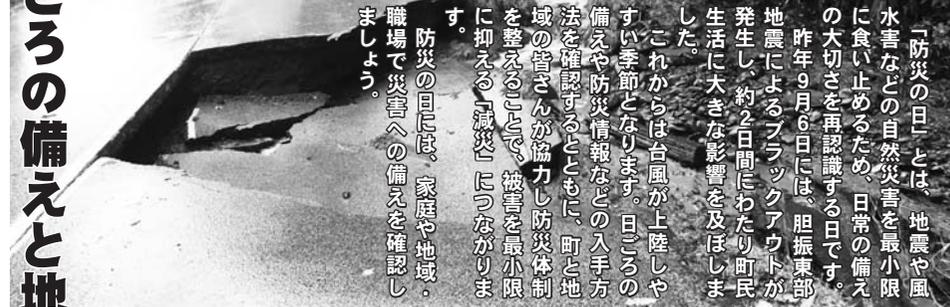
■問合せ 総務課防災係 (☎47-2112 役場2階窓口10番)

「防災の日」9月1日 「防災週間」8月30日～9月5日

安全・安心なまちづくり

防災の知識と備えを万全に!

日ごろの備えと地域の連携で減災を



「防災の日」とは、地震や風水害などの自然災害を最小限に食い止めるため、日常の備えの大切さを再認識する日です。昨年9月6日には、胆振東部地震によるトラックアウトが発生し、約2日間にわたり町民生活に大きな影響を及ぼしました。
これからは台風が上陸しやすい季節となります。日ごろの備えや防災情報などの入手方法を確認するとともに、町と地域の皆さんが協力し防災体制を整えることで、被害を最小限に抑える「減災」につながります。
防災の日には、家庭や地域・職場で災害への備えを確認しましょう。

地域を守る自主防災組織

自主防災組織は、災害から自分たちの地域は自分たちで守るという「地域ぐるみの協力体制」のことをいいます。
災害時は、役場などの防災機関と連携して、情報収集や避難の誘導、避難所の運営などを行います。また、平時時は防災知識の普及や防災訓練を実施するなど、いざというときに備えます。
現在、6町内会、2実践会で設立され、他の自治会でも設立が検討されています。



日岬町内会自主防災組織冬季防災訓練

さまざまな方法で情報を得ることができます

- ☆テレビのデータ放送から地上デジタルテレビの放送を通じて、気象情報や雨量情報、水位情報のほか、市町村が発信する避難情報や避難所開設などの情報をいち早く見るすることができます。簡単なリモコン操作で防災情報を確認することが可能ですので、確認方法を覚えておきましょう。
- ①NHK総合テレビにチャンネルを合わせる
- ②リモコンの「dボタン(データ放送)」を押す
- ③リモコンの矢印で「防災・生活情報」に合わせ、決定を押す
- ④地域の防災情報などが表示されます
- ☆インターネットからインターネットで「防災情報提供センター」と検索すると、リアルタイムで雨量や川の防災情報を見ることができます。また、町ホームページ「緊急情報」で気象情報や避難情報を確認することができますので、ぜひご利用ください。

